

# 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会 藤沢市支援方針

～ すべての市民の参加により，  
藤沢の輝かしい未来へつなげよう ～

2017年（平成29年）9月4日

未来につなぐ東京オリンピック・パラリンピック  
藤沢市支援委員会

## 東京 2020 オリンピック・パラリンピック 競技大会の支援に当たって

藤沢市では、市民、関係団体と一体となった大会支援が重要であると考え、2014年4月、市民協働組織として「未来（あした）をつかむ東京オリンピック・パラリンピック 藤沢市誘致・支援委員会」を設置し、全市的な誘致・支援等の体制を充実させる中で、観光振興や地域経済、生涯スポーツ・パラスポーツ、国際交流等の活性化、シティプロモーションの推進等を図ることで、魅力と活力あふれる「湘南の元気都市藤沢」を創造していくよう、取組を進めてまいりました。

この間における皆さんの熱意と積極的な誘致・支援の取組のもと、2015年6月、国際オリンピック委員会理事会において、東京 2020 オリンピック・パラリンピック 競技大会のオリンピック・セーリング競技会場を江の島（湘南港）とする案が了承されました。1964年大会に続き、ふたたび江の島でオリンピックが開催されることは、地元藤沢市といたしましても、大変名誉であり光栄なことと誠に嬉しく思っております。

今後は、大会に向けて市民、関係団体の皆さんと、より一層の連携を図る中で更なる支援活動を図ってまいり所存でございます。

現在、支援委員会の構成は、市内の産業、医療、大学、スポーツなどに関わる17団体となっておりますが、さらに参加のご意向があれば、ご参加いただき、皆さんで気運を高め、支援の輪を広げてまいりたいと考えております。

東京 2020 オリンピック・パラリンピック 競技大会では、すべての市民の皆さんで喜びや感動を分かち合い、ボランティア等をはじめとした市民参加を通じた人の和やマルチパートナーシップが後世に引き継がれる新たな市民文化となるよう、また、次代を担う子どもたちに夢や希望が与えられるよう取組を推進してまいります。そして、藤沢の輝かしい未来へ向け、藤沢の新たな風格や活力となるレガシーを創出してまいります。

未来につなぐ東京オリンピック・パラリンピック  
藤沢市支援委員会  
委員長（藤沢市長） 鈴木 恒夫

## 目次

1 支援の意義 .....	1
2 支援方針 .....	2

### 《「方針」の名称変更（改定）について》

2015年6月、国際オリンピック委員会理事会において、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会におけるオリンピック・セーリング競技会場が江の島に決定したことを受け、2015年7月16日に開催した平成27年度第3回未来（あした）をつかむ東京オリンピック・パラリンピック藤沢市誘致・支援委員会において、規約改正により委員会の名称を、「未来（あした）をつかむ東京オリンピック・パラリンピック藤沢市誘致・支援委員会」から、「未来につなぐ東京オリンピック・パラリンピック藤沢市支援委員会」へ変更いたしました。

これにあわせ、この方針の名称についても、「2020年オリンピック・パラリンピック東京大会誘致・支援方針」から、「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会藤沢市支援方針」に変更し、内容についても以下に記載のとおり変更するものです。

#### 《用語の定義》 ※ パラスポーツ

この支援方針においては、「障がいのある人が行うスポーツ」という考え方から一歩進め、「すべての人が自分の運動機能をいかして楽しみながら行うスポーツ」とします。〔(参考)「神奈川県かながわパラスポーツ推進宣言」〕

## 1 支援の意義

1964年の東京オリンピックにおいて、ヨット競技の会場であった藤沢市では、大会への気運の高まりを契機に市民から活発な意見が寄せられ、同年7月に「藤沢市市民憲章」が制定されるなど、スポーツだけでなく市民活動や地域経済活動にも活力が与えられ、現在も受け継がれています。

このような中、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会におけるオリンピック・セーリング競技会場の本市江の島（湘南港）への変更案が2015年6月8日の国際オリンピック委員会理事会において承認され、江の島において2度目のオリンピックが開催されることが決定しました。

オリンピック・パラリンピック競技大会は、世界最大のスポーツの祭典であり、江の島において1964年に続き2度目の大会が開催されることは、本市にとってまたとない好機となります。セーリング競技の更なる普及はもとより、スポーツ全般の推進、健康増進、藤沢の文化・魅力等の継承・発展並びに観光振興及び地域経済の活性化を目指し、市民の元気と都市の活力を高めていく必要があります。

また、大会の開催は、将来を担う子どもたちにとっては、挑戦すること、目標に向かって努力することの尊さや、共生社会の形成に向けて、同じ社会に生きる人間として、お互いに正しく理解し、共に助け合い、支え合って生きていくことの大切さなどを学ぶ好機ともなります。

この機会に、「スポーツを通して心身を向上させ、文化・国籍など様々な違いを乗り越え、平和でよりよい世界の実現に貢献する」という精神のもとに開催される東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会について、全市を挙げて積極的な支援を行うことにより、湘南の元気都市としての更なる発展が期待できます。



1964年大会当時の様子

## 2 支援方針

### (1) 支援の基本的な考え方

2020 年は、市制施行 80 周年の節目であり、それ以降に更なる高齢化の進展や総人口のピークを迎えることを見据えながら、成長と成熟を同時に満たしていく都市になることが大切になります。

藤沢市は、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の会場関連自治体として、新しい価値やコミュニティ、活力が生み出され、持続可能な都市の形成がなされるものと考え、市と支援委員会との相互協力のもと、支援の輪を広げるよう取り組んでいきます。

#### ■ 市民参加型のオリンピック・パラリンピック競技大会を推進する

オリンピック・パラリンピック競技大会のボランティア等に、子ども、高齢者、障がいがある人、外国人市民など、すべての市民の方々に楽しく関わっていただき、喜びや感動を分かち合えるよう取組を推進します。

大会を契機としたボランティア等の市民参加を通じた人の和やマルチパートナーシップが、後世に引き継がれる新たな地域の活力として、市民文化となるよう、また、子どもたちにとっても、大会に関わる経験を通じた喜びなど、生涯の記憶に残るような、かけがえのない体験が得られるよう、取組を推進します。

#### ■ 未来に向けたレガシー（※1）を創出する

世界最大の祭典、オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を通じて、経済効果やインフラ整備のみならず、オリンピック・パラリンピック競技大会を契機として、有形・無形のレガシーを創出し、次代を担う子どもたちへ、その先の未来へとレガシーとして継承していけるよう取組を推進します。

（注）※1 レガシー

この支援方針では、オリンピック・パラリンピック競技大会の開催都市や会場関連自治体等において、長期にわたり継承・享受できるオリンピック・パラリンピック競技大会がもたらす社会的・経済的・文化的な未来遺産をいいます。

## (2) 活動目標 「地域と市民が元気になること」

「地域と市民が元気になること」を目指し、市民生活の向上につながり、市民一人ひとりが藤沢市を郷土として心から愛し、生き生きと暮らすことができるよう、大会後も見据えた「いつでも・どこでも・だれでも・いつまでも、気軽にスポーツを楽しめる」生涯スポーツ・パラスポーツ，シティプロモーションの推進や、観光振興，地域経済，国際交流等の活性化につながる取組を図ります。



## (3) 活動内容

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会のオリンピック・セーリング競技会場に江の島が選ばれたことから、大会の開催に向けて、支援に必要な環境整備を促進しながら、市民の気運の醸成とボランティアに関する取組を進めます。

また、事前キャンプ等の誘致や、大会に出場する藤沢市にゆかりのある選手等に関わる支援活動に取り組むとともに、観戦に訪れる人を対象にした気運を高揚させる活動を進めます。

プレ大会時のキャンプ，各種世界大会等の誘致，練習合宿等も視野に入れたハード・ソフト両面の周辺環境整備等の対応を進めます。

(分野別の主な取組内容)

### **1 気運を高める取組とスポーツ推進に関する取組**

- ア 生涯スポーツ・パラスポーツの普及・啓発
- イ セーリング競技の普及啓発事業の実施
- ウ 選手等との市民交流
- エ 藤沢市にゆかりのある選手等関係者の応援
- オ 事前キャンプ，国際大会等の誘致活動
- カ アスリート養成支援
- キ オリンピック・パラリンピック競技大会観戦者向けの来藤ツアーの検討

### **2 ボランティア等の市民参加に関する取組**

- ア ボランティア等，市民参加の推進に関する計画の策定及び取組の推進
- イ フォーラム等の啓発事業の実施
- ウ オリンピック・パラリンピック競技大会に関するボランティアの育成

### **3 健康増進に関する取組**

- ア スポーツの推進と健康づくり活動の推進を通じた健康寿命の延伸
- イ 受動喫煙防止，禁煙支援対策等の推進
- ウ アンチドーピングに関する啓発の推進

### **4 文化・教育に関する取組**

オリンピズム（※2）の視点を踏まえた文化芸術プログラム，教育プログラムの策定と事業の推進

※2 オリンピズム

スポーツを通して心身を向上させ，さらには文化・国籍など様々な差異を超え，友情，連帯感，フェアプレーの精神をもって理解し合うことで，平和でよりよい世界の実現に貢献すること。

### **5 産業・観光振興に関する取組**

オリンピック・パラリンピック競技大会開催を契機とした一層の産業振興と裾野の広い更なる観光誘客の推進

### **6 環境に関する取組**

オリンピック・パラリンピック競技大会開催を契機として，環境美化，持続可能な循環型社会の構築に向けた取組の推進

### **7 共生社会の推進に関する取組**

- ア 人権，平和，多文化共生，国際交流等の取組の推進
- イ 多言語化，バリアフリー化等の推進

### **8 救急・医療体制に関する取組**

緊急時における救急・医療体制等の更なる推進に当たり，外国人観光客を含め，幅広く対応する体制の構築

## 9 安全・安心に関する取組

- ア 防犯, 防災, テロ対策及び交通安全対策等について, 市内外の関係機関・団体との連携協力体制の推進
- イ 会場周辺自治会, 町内会等への協力依頼及び連携協力体制の推進

## 10 周辺環境整備に関する取組

- ア バリアフリー化等の都市基盤整備と大会終了後を見据えたハード・ソフト両面からの市内の連携協力体制の構築
- イ 多言語対応(案内表示・標識等)の推進

オリンピック・パラリンピック競技大会の支援につながる世界大会, 全国大会等の開催に注目し, 年度ごとの取組をアクションプランにまとめます。

また, 予算獲得, 工期等に時間を要し, 他の主体への働きかけが必要となる要望活動を先行して実施しつつ, 支援活動は2020年に向けて気運の高まりと対象者の広がりを得られるよう, 事業を拡大しながら取り組みます。

### 【対象期間中の主な予定】



### (4) 他事業との連携と東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした未来へのレガシーづくりに向けて

#### ア 他事業との連携

支援活動については, 他事業との連携を念頭に取り組みます。また, 産業, 観光, スポーツ関連の事業の側面からも支援につながるよう事業内容を検討するとともに, 国家戦略特区をはじめとする国, 県等のオリンピック・パラリンピック競技大会に関連する事業展開にも積極的に参加していきます。



また、支援の成果が将来につながり、持続的なスポーツ推進、市民スポーツやパラスポーツ等の拠点となるよう、マリンスポーツ、ビーチスポーツ、ビーチレクリエーションエリアとしてのまちづくりとも連携しながら検討します。

さらに、2020年のオリンピック開催後も、都市の魅力、活力が持続し、その先にある超高齢化の進展や人口減少に対応し得るよう、都市基盤再整備や健康、医療、防災等に関しては、長期的なまちづくりとも連携していきます。

## イ 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした未来へのレガシーづくりに向けて

2020年のオリンピック・パラリンピック競技大会開催を契機として、スポーツ、健康増進、文化・教育、産業・観光、環境、人権、平和、多文化共生、国際交流などのさまざまな分野における先進的な取組が市民共有の財産として、次代を担う子どもたちへ、その先の未来へとレガシーとして継承されるよう努めます。

No.	分野別の主な取組	取組の影響・効果	支援委員会としての主な取組内容
1	気運を高めることと、スポーツの推進	幼少期から高齢期までの生涯を通じたスポーツの推進が図られる。 「いつでも・どこでも・だれでも・いつまでも、気軽にスポーツが楽しめる」生涯スポーツ・パラスポーツの普及と関連施設の整備が推進される。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■生涯スポーツ・パラスポーツの普及啓発事業の支援</li> <li>■セーリング競技の普及啓発事業の支援 等</li> </ul>
2	ボランティア等の市民参加に関する取組の推進	ボランティア等の市民参加の気運の醸成と裾野の拡大等、ボランティア活動の活性化と活動の一層の充実が図られ、新たな市民文化と地域における人の和、マルチパートナーシップが一層推進される。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■フォーラムの開催</li> <li>■ボランティアの育成支援 等</li> </ul>
3	健康増進に向けた取組の充実	スポーツ推進等を通じた健康増進への気運の高まりや啓発事業の充実が図られ、健康長寿社会が一層推進される。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■健康増進に向けたスポーツや健康づくり活動の推進、健康寿命の延伸、タバコ対策及びアンチドーピングに関する啓発事業への支援 等</li> </ul>
4	文化・教育活動の推進	本市の文化芸術を国内、国外に発信し、本市の文化芸術の素晴らしさについて更に周知を図り、文化芸術施策が一層推進される。 また、オリンピック・パラリンピック競技大会を通じた教育を通して、障がい者への理解と、海外などさまざまな文化を学ぶ中で、多文化等に関する理解が深まる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■オリンピズムにおける文化、教育との融合の視点を踏まえた文化芸術及び教育活動の支援 等</li> </ul>
5	産業・観光振興の活性化	更なる産業振興と裾野の広い観光誘客が一層推進されるとともに、おもてなしの心の醸成やマナーアップ等が図られる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■観光振興と地域経済の活性化に向けた取組への支援 等</li> </ul>
6	環境に関する取組の推進	オリンピック・パラリンピック競技大会の理念の一つである環境の保全・配慮に向けて、持続可能な循環型社会の構築に向けた取組が推進される。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■持続可能な社会の構築に向けた普及啓発事業への支援 等</li> </ul>
7	共生社会の推進	オリンピズムの目的である人間の尊厳保持と平和な社会を目指し、人権尊重の理念の普及が図られるとともに、多文化共生、国際交流等が推進される。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■共生社会の実現に向けた取組への協力・支援 等</li> </ul>

8	救急・医療体制の充実	関係機関・団体との連携強化を図り対策を推進する中で、外国人観光客等への対応を含めた救急・医療体制の充実が図られる。	■緊急時における救急・医療体制の充実に向けた支援 等
9	安全・安心の取組の強化・推進	防犯、防災、テロ対策及び交通安全対策等について、関係機関・団体との連携強化を図り対策を推進する中で、地域防災力、危機管理能力等の向上が図られる。 また、会場周辺の自治会・町内会等との連携協力体制が推進される。	■防犯、防災、テロ対策及び交通安全対策等に係る関係機関・団体等との連携と協力・支援 等 ■会場周辺の自治会・町内会等への情報提供 等
10	周辺環境整備の推進	バリアフリー化等の都市基盤整備と大会終了後を見据えたハード・ソフト両面からの市内の連携体制の構築が図られる。	■多言語対応（案内表示、標識等）の推進・支援 等

## 附 則

2014年（平成26年）8月5日策定

2016年（平成28年）7月20日改定

2017年（平成29年）9月4日改定